

目次

はじめに……………(湯浅 剛)…………… i

略語一覧………………………… xv

第I部

二〇一六年の北朝鮮と東アジア

第1章 金正恩体制と東アジア国際関係(講演録)……………(平岩 俊司)…………… 3

第2章 中国と東アジアの国際関係
——核の安全保障の視点から……………(青山 瑠妙)…………… 25

第3章 混乱の政治
——頓挫した北朝鮮の非核化……………(白 鶴淳)…………… 45

第Ⅱ部

リスク拡散か、低減か——「核なき世界」に向けて

第4章	武器の進化と国際平和……………	(吉川	元)	65
第5章	軍縮分野の規範形成……………			
	——人道的アプローチの有用性……………	(福井	康人)	91
第6章	東アジアにおける核の安全保障と共同体構想……………	(広瀬	訓)	117
第7章	オバマ氏訪問後の広島の問題……………	(東海右佐衛門直柄)		139
	本書のもとになったシンポジウム、連続市民講座について……………			152

* 本書所収の各論は、執筆者個人の見解であり、広島平和研究所を代表するものではありません。